

貧酸素水塊速報 (2023年)

【発行】 ○ 千葉県水産総合研究センター
 神奈川県水産技術センター
 千葉県農林水産技術会議
 内湾底びき網研究会連合会

【協力】 ○ 千葉県環境研究センター
 第三管区海上保安本部
 東京都環境局
 (国)国立環境研究所
 ○ モニタリングポスト(海上保安庁, 国土交通省 関東地方整備局)

(今回の速報は“○”の機関の観測データを使用して作成しました)

令和5年9月4日観測結果

昨日から吹いた北寄りの風のため、貧酸素水塊は北偏し、湾奥で小規模な青潮が発生したようです。平場は無酸素化していなかったため、大規模な青潮に至りませんでした(図1)。今後、北寄りの風が収まり、南風になる予報なので、分布も南側に戻ると考えられます。縦断ラインでの規模は、19%に減少しました(図2,3)。表層水温26~29℃、底層水温22℃~28℃でした。

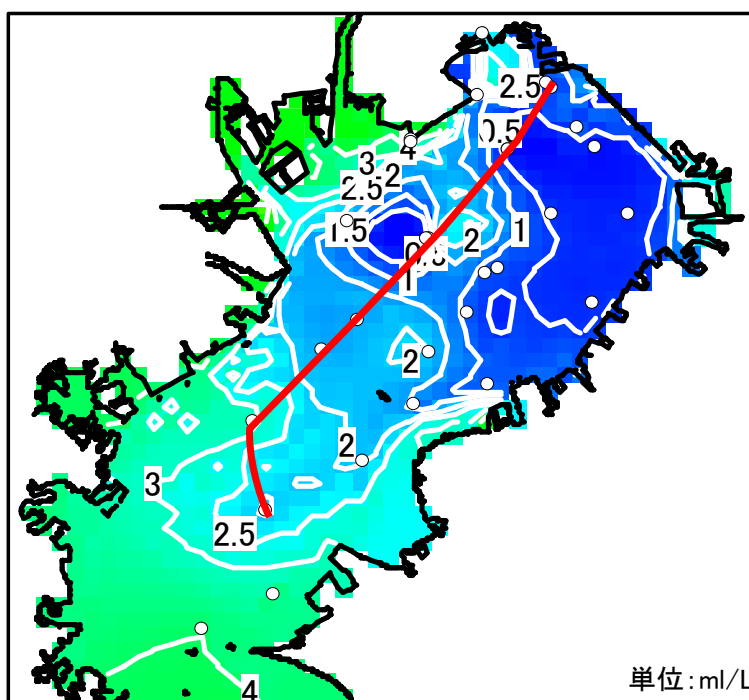


図1 底層の溶存酸素量分布(赤線は縦断ライン)

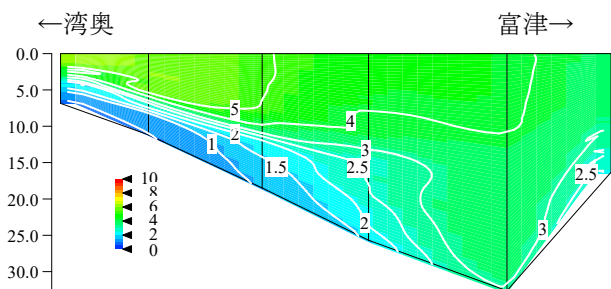


図2 縦断ラインでのDO鉛直分布

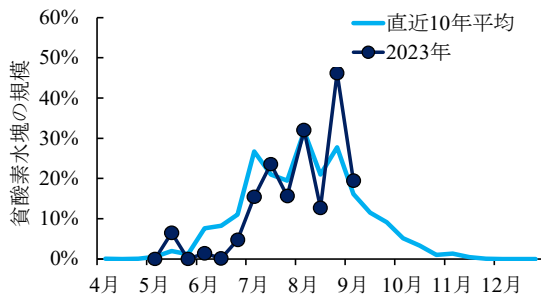


図3 貧酸素水塊の規模

(左図で貧酸素水塊(2.5ml/L以下)が占める割合)

酸素飽和度と溶存酸素量(DO)の目安

酸素飽和度	溶存酸素量	備考
50%	2.5mL/L	貧酸素水塊
30~40%	2.0mL/L	魚類に影響
	1.5mL/L	貝類危険
	1.0mL/L	